

# 川崎市の経営ビジョンと財政状況

1.川崎市の経営ビジョン

2.川崎市の財政状況

3.川崎市債の管理

平成21年3月24日



川崎市

# 1. 川崎市の経営ビジョン

川崎のポテンシャル

都市基盤整備

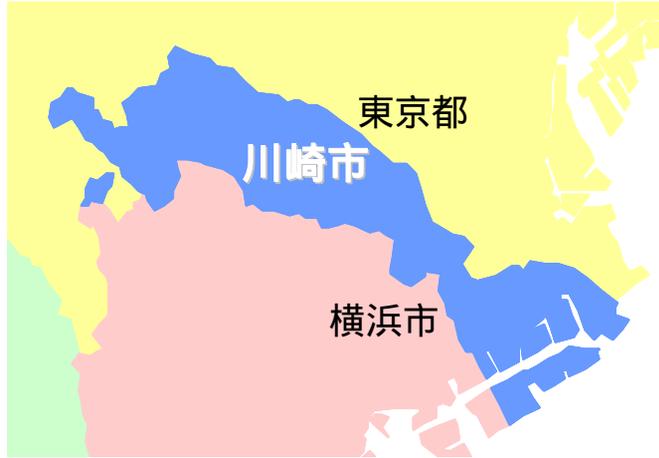
経営ビジョン

平成21年度予算



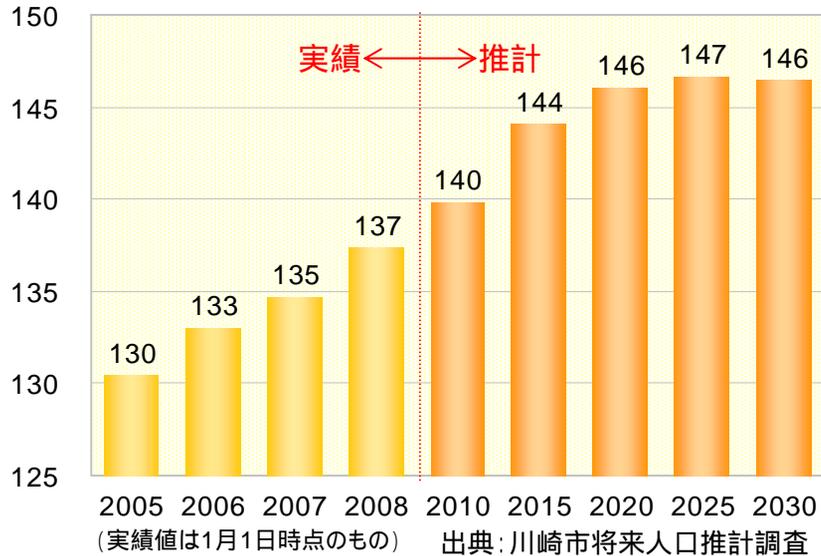
# 川崎のポテンシャル

KAWASAKI CITY

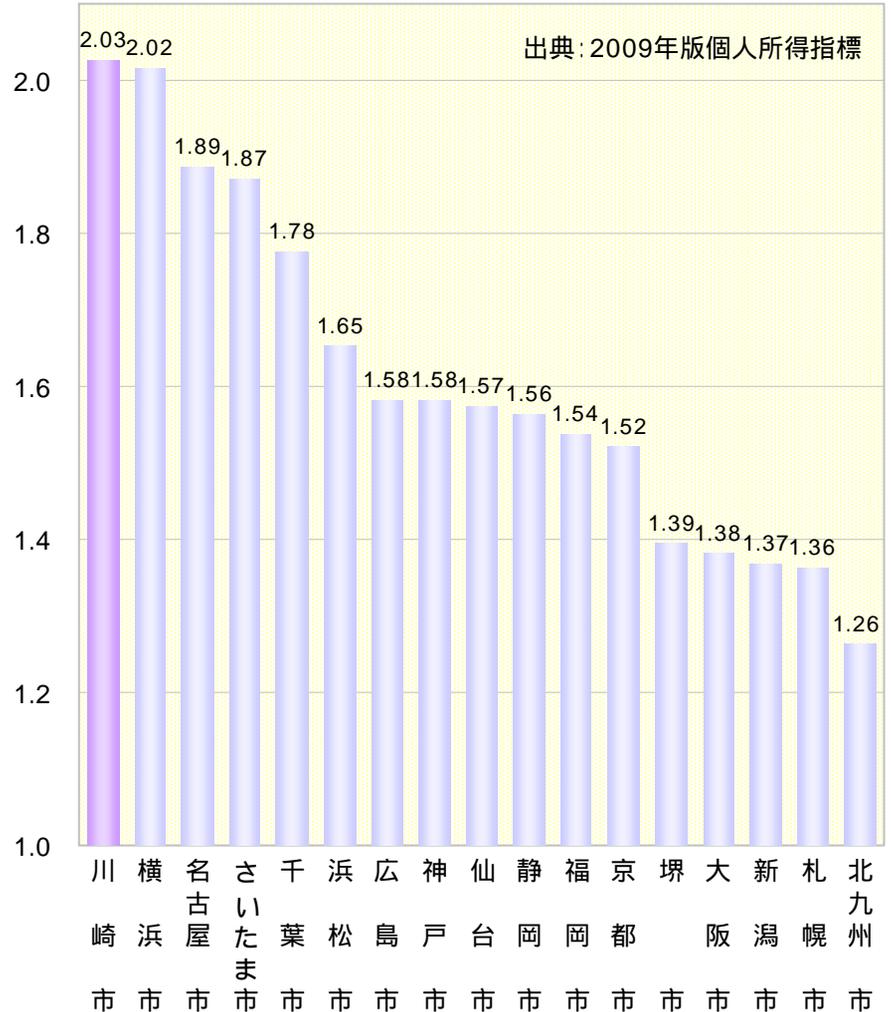


(万人)

### 人口の増加状況と将来推計



### 人口1人あたり課税対象所得額 (平成19年度)





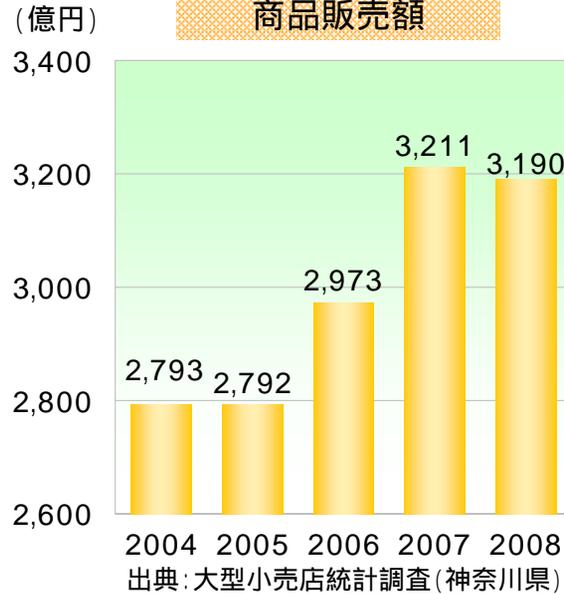
# 元気都市かわさき

KAWASAKI CITY

### 川崎市内製造品 出荷額の推移



### 川崎市内大型小売店 商品販売額



### 川崎市内非居住用 建築着工床面積



## 国際社会に貢献する魅力ある先端産業都市

- 最先端環境技術の集積 国際的な普及をめざす取組へ
- 大学や企業の持つ先端科学技術 研究への支援

## 魅力あふれる川崎の芸術・文化、スポーツ

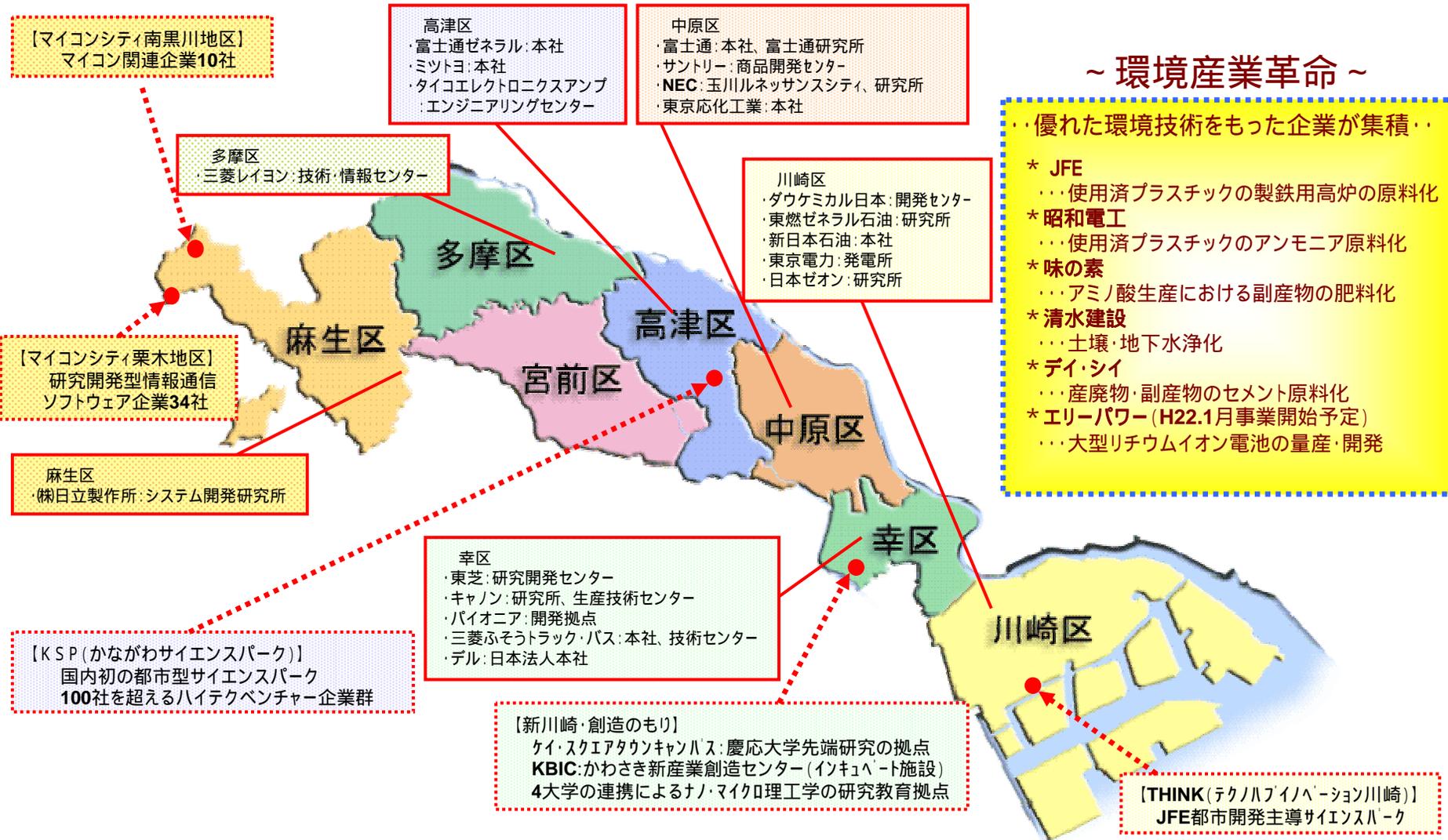
- 音楽のまち、映像のまちの推進
- ホームタウンスポーツ  
サッカー(川崎フロンターレ)  
アメリカンフットボール等
- スーパー陸上競技大会の開催



# 元気都市かわさき

～ 200を越える研究開発機関～

ものづくり都市から先端産業都市へ～国際社会に貢献する技術の集積～



## ～ 環境産業革命～

- ・優れた環境技術をもった企業が集積・
- \* JFE
    - ・使用済プラスチックの製鉄用高炉の原料化
  - \* 昭和電工
    - ・使用済プラスチックのアンモニア原料化
  - \* 味の素
    - ・アミノ酸生産における副産物の肥料化
  - \* 清水建設
    - ・土壌・地下水浄化
  - \* デイ・シイ
    - ・産廃物・副産物のセメント原料化
  - \* エリーパワー (H22.1月事業開始予定)
    - ・大型リチウムイオン電池の量産・開発



# 臨海部における都市基盤整備

戦略的なマネジメントにより  
臨海部の再生、持続的発展をめざす

## 神奈川口構想 の推進

## 川崎臨海部土地利用誘導ガイドライン に基づく戦略的なマネジメントの推進

羽田側との連絡路等を整備するとともに、  
羽田空港の対岸地域に新たな交流拠点を形成

地域特性を活かした土地利用の誘導を図り、  
世界の拠点となる機能の集積を推進



\* 臨海部の再生を先導する戦略拠点及び重点整備地区 \*

### (A) 殿町3丁目地区 (神奈川口:約40ha)

- ・首都高等の広域交通の結節点であることや羽田空港への近接性など優れた地域特性を活かし、臨海部の発展を先導
- ・研究開発、商業、物流などの拠点と新しい玄関口の形成  
*航空貨物拠点や臨空関連産業の進出*

### (B) 浜川崎駅周辺地域 (約104ha)

- ・環境・安全・エネルギー等の研究開発拠点の形成
- ・研究開発拠点に隣接する商業や業務、都市型住宅等の複合市街地の形成

### (C) 水江地区 (公共用地部分:約6ha)

- ・高度な先端技術分野の産業や研究開発機関等の集積を促進
- ・環境負荷低減への取組を地区全体で実践



# 市域にわたる都市基盤整備

KAWASAKI CITY

首都圏全体における拠点機能や基盤形成の動きを踏まえながら、地理的優位性を活かした「広域調和・地域連携型まちづくり」を推進

## 臨海部の再生

- ◆羽田空港の再拡張・国際化に対応した神奈川口構想の推進
- ◆川崎殿町・大師河原地域や浜川崎駅周辺地域における活力ある臨海都市拠点の整備
- ◆国際環境特別区の推進
- ◆アジア起業家村構想
- ◆先端産業創出支援

## 都市拠点・ネットワークの整備

- ◆駅周辺地区の整備
  - > 川崎: 東口駅前広場改良・北口自由通路改札一体整備
  - > 小杉・横須賀線新駅: 周辺基盤整備
  - > 登戸・遊園: 駅前交通機能向上
  - > 新川崎・鹿島田: 地域生活拠点の整備

## 広域交通体系の整備

- ◆川崎縦貫道路の整備促進
- ◆川崎縦貫高速鉄道線整備事業の取組





# 地下鉄事業の事業効果と施設効果

KAWASAKI CITY

事業効果	小杉駅周辺 再開発	JR横須賀線 武蔵小杉新駅	川崎縦貫高速鉄道線	
			初期整備	全線整備
生産誘発効果	3,436億円 (投資額の1.45倍)	180億円 (投資額の1.45倍)	5,674億円 (投資額の1.45倍)	8,279億円 (投資額の1.45倍)
雇用誘発効果	約27,900人	約1,500人	約46,000人	約67,100人
税収効果	38億円	2億円	62億円	91億円

施設効果	小杉駅周辺 再開発	川崎縦貫高速鉄道線 (横須賀線小杉新駅含む)		
		初期整備	全線整備	
利用者効果	-	4,743億円	5,974億円	
供給者効果	-	602億円	825億円	
環境軽減効果	-	59億円	73億円	
川崎市	常住地従業者の増加 (就業者の増加)	約7,100人	約15,500人	約23,500人
	居住者の増加	約16,700人	約36,600人	約55,600人
	地価上昇	1,455億円	1,837億円	2,553億円
	税収効果	59億円/年	51億円/年	74億円/年



# 経営ビジョン～川崎再生の原動力となる3つの大きな枠組み～

## 新行財政改革プラン

基本目標:「元気都市川崎」を実現する都市経営基盤の確立  
取組期間:平成20年度～平成22年度

具体的取組

- |                  |           |
|------------------|-----------|
| 施策・制度の再構築        | 補助助成金の見直し |
| 入札契約制度改革         | 債権確保策の強化  |
| 3年間で1,000人の職員削減  | 区役所機能の強化  |
| 効率的な整備・運営手法の導入 等 |           |

## 新総合計画 川崎再生フロンティアプラン

基本構想と実行計画の2層構造

基本構想:活力とうるおいのあるまちづくりの基本目標設定  
実行計画:政策体系ごとに各年度の具体的取組みを明示

## 自治基本条例

■ 基本理念:

市民の、市民の手による、市民のための自治

■ 基本原則:

市民との情報共有、市民の参加と市民との協働

■ 取組概要:

区民会議の設置、住民投票制度の創設(平成21年4月)

これらの取組により、再生から次なる飛躍に向けて、高い政策水準を保持していく。



# 川崎市行財政改革プラン

KAWASAKI CITY

## 【改革の目的】

少子高齢化や行政ニーズ多様化に対応するため持続可能な行財政基盤を構築

## これまでの取り組みと効果

- ・人件費の抑制……………職員数の削減(2,178人)
- ・組織体制の整備……………区役所機能の強化、市民・こども局の設置
- ・事務事業についての検証… PFIなど新たな事業手法の導入

平成21年度予算では目標を59億円上回る629億円の財政効果

## 改革効果の 市民サービスへの還元

- ・小児医療費助成の拡充
- ・小中学校の冷房化・こども文化センターの床改修
- ・私立幼稚園園児保育料等補助の拡充



## 財政収支の中期見通し

### 新行財政改革プランに基づく財政フレーム(平成20年3月策定)

一般財源ベース

(単位:億円)

項目 / 年度		20予算	21予算	22見込	23見込	24見込
歳入合計 A		3,578	3,782	3,776	3,681	3,640
	市税	2,888	2,890	2,976	3,004	3,048
	地方譲与税	34	33	34	34	34
	利子割交付金 ~ (*)	217	203	222	230	230
	地方交付税	3	2	3	3	3
	市債	123	167	87	72	57
	その他	313	487	454	338	268
歳出合計 B		3,678	3,782	3,825	3,733	3,677
	人件費	946	938	899	877	857
	扶助費	377	397	399	403	410
	公債費	745	761	711	751	707
	投資的経費	287	400	391	267	271
	その他経費	1,323	1,286	1,425	1,435	1,432
減債基金からの借入れ C		100	-	-	-	-
施策調整・事業見直し		-	-	49	52	37
A - Bの収支不足はCで対応						

(\*) 県税の一部が交付されるもので利子割、配当割、株式等譲渡所得割、地方消費税、ゴルフ場利用税、自動車取得税、軽油取引税の7種類の交付金の総額



# 平成21年度予算 ~ かわさき安定フライト予算 ~

平成21年度予算は、「新行財政改革プラン」と「川崎再生フロンティアプラン・第2期実行計画」の2か年目の予算として、都市経営の視点に立ったうえで次の点を基本に編成

**行財政改革の取組を確実に反映**

**計画事業の一層の実現と社会環境変化への的確な対応**

**自治基本条例に基づく市民本位のまちづくりに向けた取組を一層推進**

市民生活の安全・安心をしっかりと確保するとともに、高い政策水準による安定した行財政運営を行っていく予算であるという意味を込めて、「かわさき安定フライト予算」としました。

## 予算の規模

会計名	平成21年度予算	平成20年度予算	増減額	増減率
一般会計	5,816億7,762万円	6,094億6,359万円 (5,613億259万円)	277億8,597万円 (203億7,503万円)	4.6% (3.6%)
特別会計 (14会計)	5,209億8,055万円	5,255億5,308万円	45億7,253万円	0.9%
企業会計 (6会計)	2,147億613万円	1,984億1,513万円	162億9,100万円	8.2%
合計	1兆3,173億6,431万円	1兆3,334億3,181万円	160億6,750万円	1.2%

( )は水江町関連予算を除いた場合の数値

## 2 川崎市の財政状況

川崎市の財政状況

川崎市の連結バランスシート

土地開発公社の状況

出資法人の状況

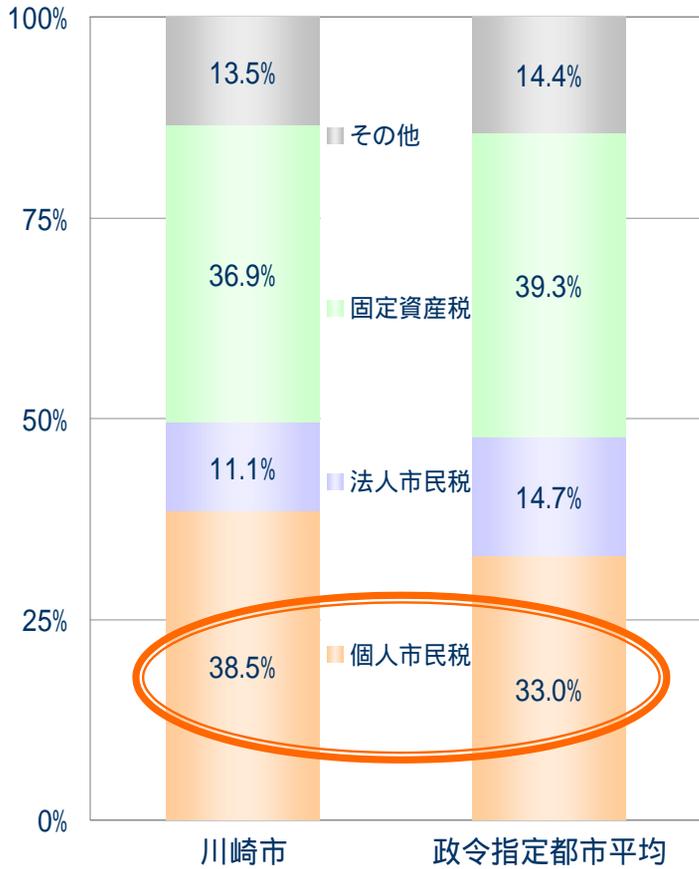


# 税収構造の分析

KAWASAKI CITY

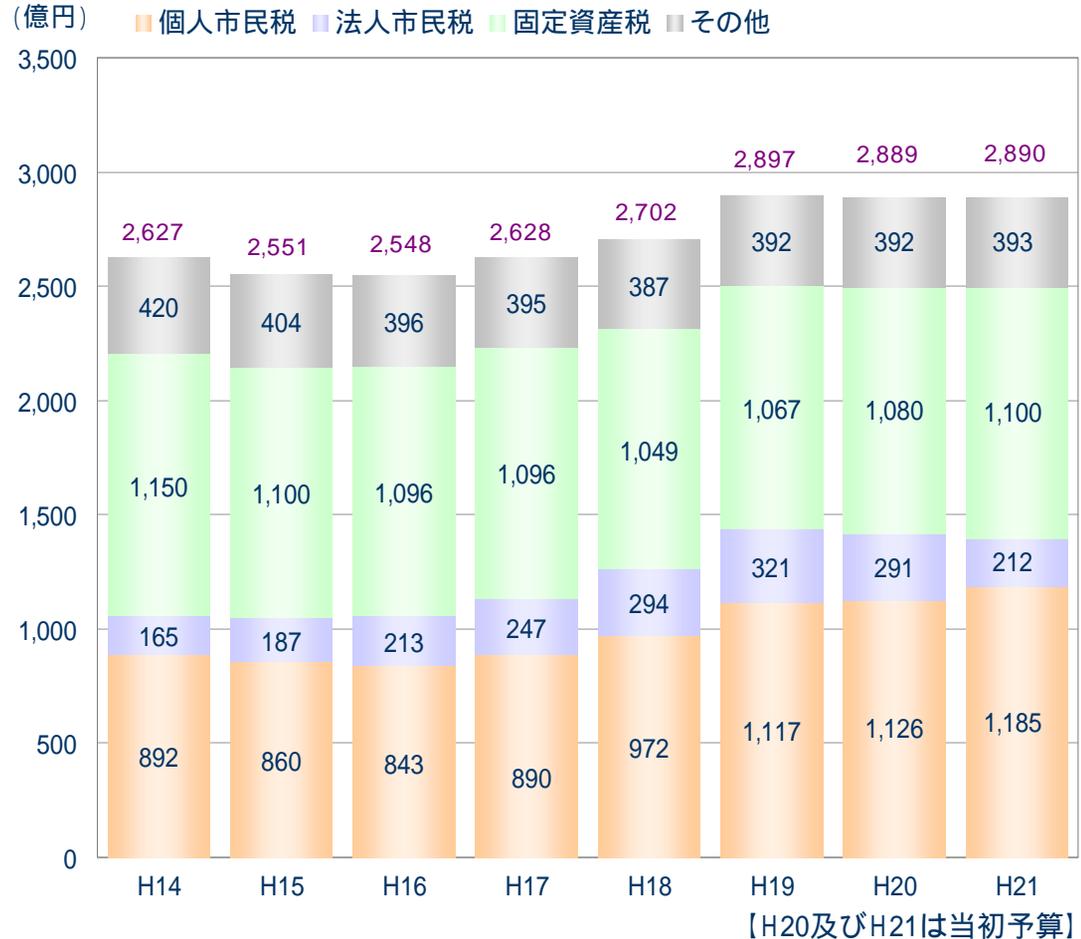
## 個人市民税の比率が高い

### 個人市民税の構成比が高い



【H19年度決算見込み等に基づく政令指定都市比較】

### 市税収入の状況 (堅調に推移)



【H20及びH21は当初予算】



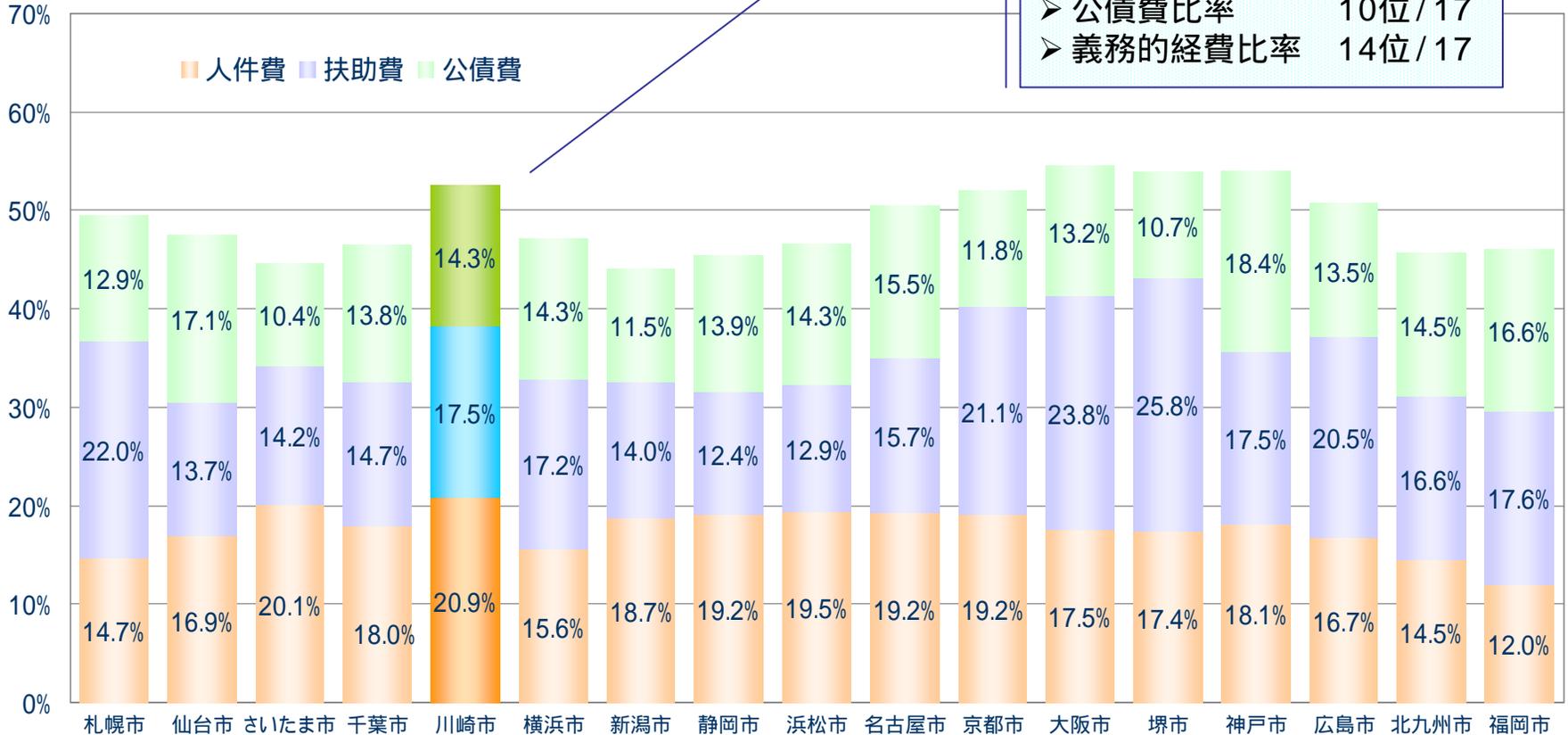
# 歳出構造の分析(普通会計)

他都市に比べて高い人件費比率がコスト構造の最大の問題

## 歳出に占める義務的経費比率の比較

【H19年度決算見込み等に基づく政令指定都市比較】

- 人件費比率 17位 / 17
- 扶助費比率 10位 / 17
- 公債費比率 10位 / 17
- 義務的経費比率 14位 / 17



義務的経費比率



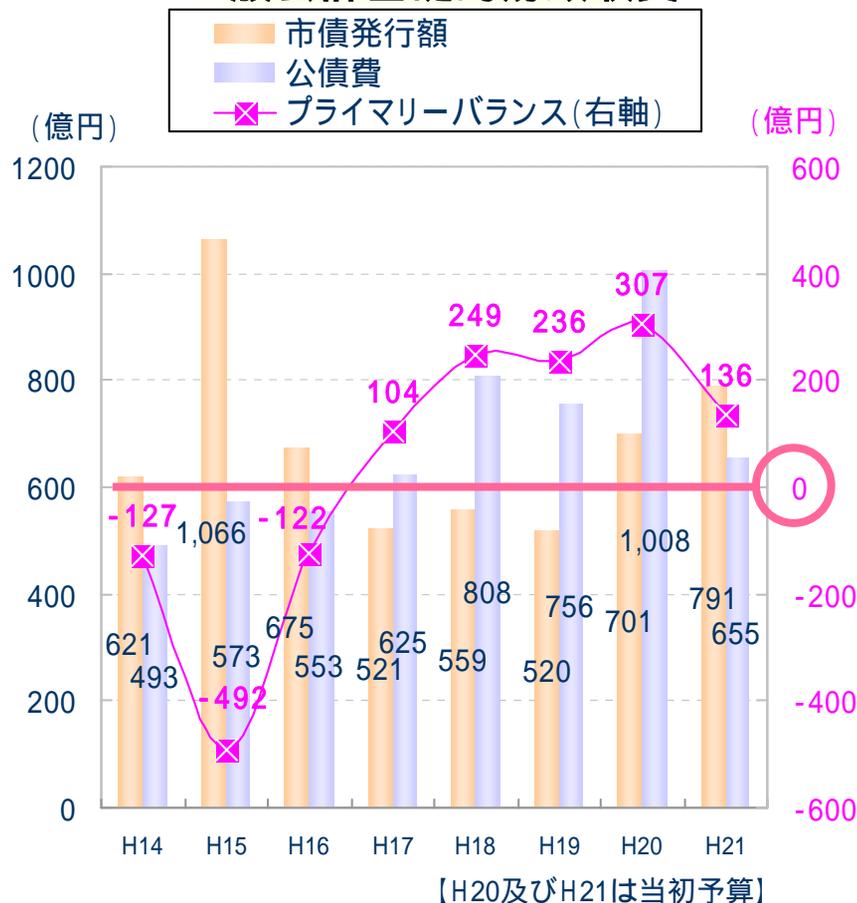
# 地方財政健全化法4指標・プライマリーバランス

健全化法4指標については、いずれも  
早期健全化団体となる基準をクリア

プライマリーバランスは  
平成17年度以降プラスで推移

地方財政健全化法4指標	川崎市 H19年度 決算 (見込み)	【参考】 早期健全化 基準
実質赤字 比率	- (赤字となっていない)	11.25%
連結実質赤字 比率	- (赤字となっていない)	16.25%
実質公債費 比率	16.3%	25.0%
将来負担 比率	147.3%	400.0%

## 一般会計基礎的財政収支





# 川崎市の連結バランスシート(平成19年度末時点)

普通会計+特別会計(14)+公営企業会計(6)の全市バランスシートに、一部事務組合、地方公社及び第3セクターのバランスシートを連結

## 連携協力団体との連結バランスシート(試案)

(単位:億円、%)

区分		18年度	19年度	増減額	増減率	区分		18年度	19年度	増減額	増減率
資産	1.有形固定資産	32,035	32,155	120	0.4%	負債	1.固定負債	15,421	14,910	511	3.3%
	(うち普通会計)	19,460	19,624	164	0.8%		地方債	13,399	13,001	398	3.0%
	2.投資等	1,702	1,758	56	3.3%		引当金ほか	2,022	1,909	113	5.6%
	投資及び出資金	501	522	21	4.2%		2.流動負債	1,625	1,825	200	12.3%
	貸付金	350	400	50	14.3%		(うち地方債 翌年度償還予定額)	1,168	1,346	178	15.2%
	基金ほか	851	836	15	1.8%		負債合計	17,046	16,735	311	1.8%
	3.流動資産	1,562	1,518	44	2.8%	資産・ 負債差額	1.国庫支出金	4,855	4,920	65	1.3%
	現金・預金	506	532	26	5.1%		2.県支出金	249	244	5	2.0%
	未収金ほか	1,056	986	70	6.6%		3.他団体及び民間出資分	72	71	1	1.4%
	4.繰延勘定	1	0	1	100%		4.一般財源その他	13,078	13,461	383	2.9%
資産合計	35,300	35,431	131	0.4%	資産・負債差額合計		18,254	18,696	442	2.4%	
						負債・正味資産合計	35,300	35,431	131	0.4%	



# 土地開発公社の状況

## 土地開発公社経営健全化計画

旧計画 (平成12年度～平成17年度)

現計画 (平成18年度～平成22年度)

### 公社保有土地の簿価総額の縮減状況



**旧計画の取組成果**

H12年度当初簿価 1,311億円	H17年度末簿価 539億円
772億円 (59%) 縮減	

**現計画**

H18年度当初簿価 539億円	H22年度末簿価 82億円
457億円 (85%) 縮減	

公社の経営健全化を図るために「土地開発公社経営健全化計画」に沿って公社保有地の縮減を進めています。



# その他の出資法人の状況

## 住宅供給公社 土地開発公社

- ◆ 平成19年度の経常利益は2公社ともに黒字
- ◆ 住宅供給公社では理事・監事を民間から登用し透明性を高めている
- ◆ 土地開発公社では水江町公共土地の処理に伴い経営健全化が推進
- ◆ 平成22年度を目途に2公社の事務部門の統合を図る

## 公益法人 (財団法人)

市出資率50%以上の  
財団法人18

- ◆ 平成19年度の次期繰越収支は14法人が黒字、4法人が均衡
- ◆ 平成17年度に在宅福祉公社を廃止したのに続き、平成19年度には建設技術センターの廃止手続きを完了
- ◆ 新行財政改革プランでは法人ごとに取組みの方向性を定め、法人そのもののあり方の見直しを図る

## 公益法人 (株式会社)

4法人

- ◆ 平成19年度の経常利益は3法人が黒字、1法人が赤字
- ◆ 赤字となったかわさき市民放送(株)については、今後の経営改善を前提に存続することとし、自立的な経営への取組みを進める

# 3 川崎市債の管理

公債費等に関する将来推計

平成21年度川崎市債発行計画

市債に関する取組み

川崎市ホームページのIRコーナー

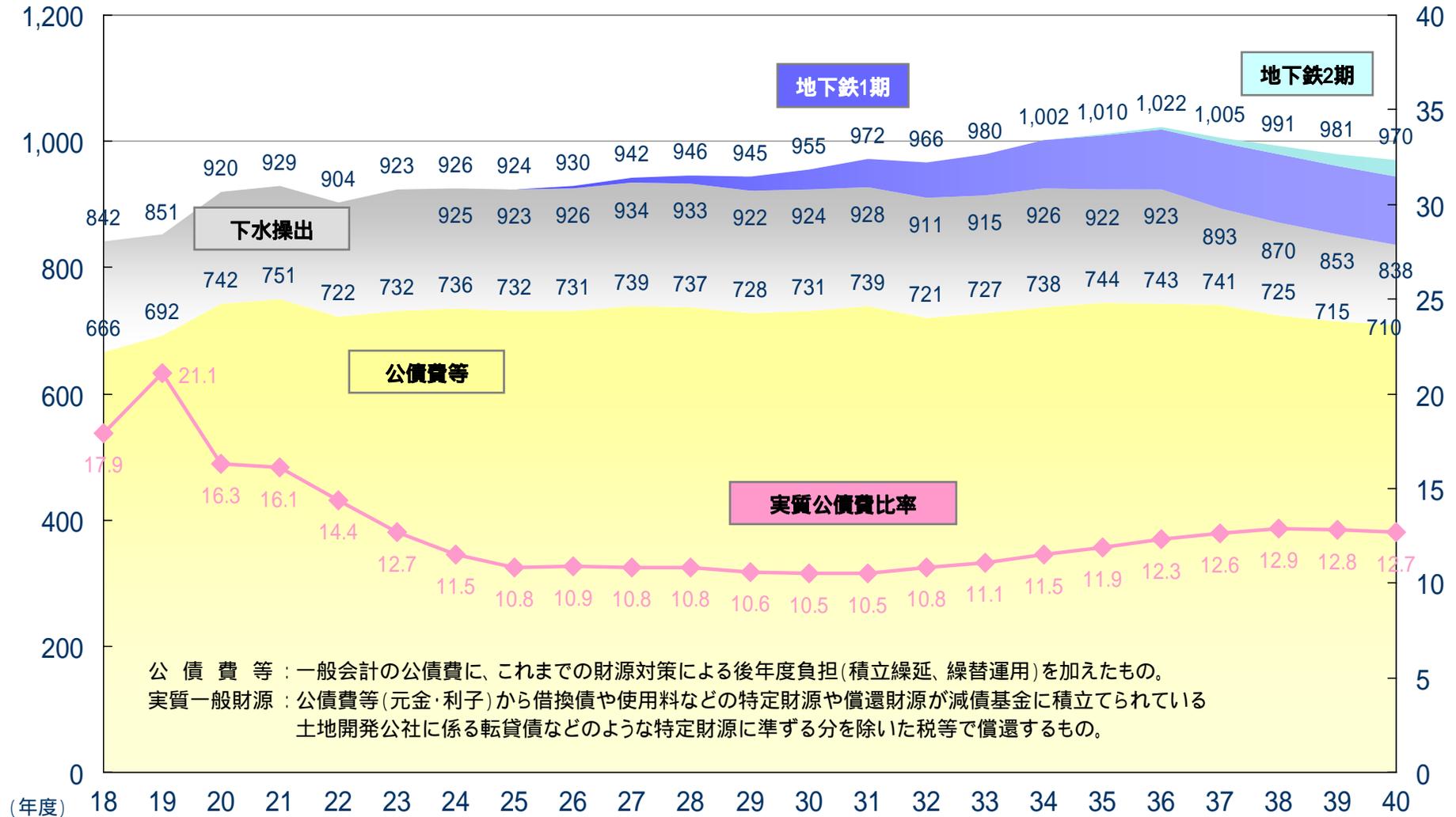


# 公債費等に関する将来推計

KAWASAKI CITY

公債費等(億円)

実質公債費比率(%)

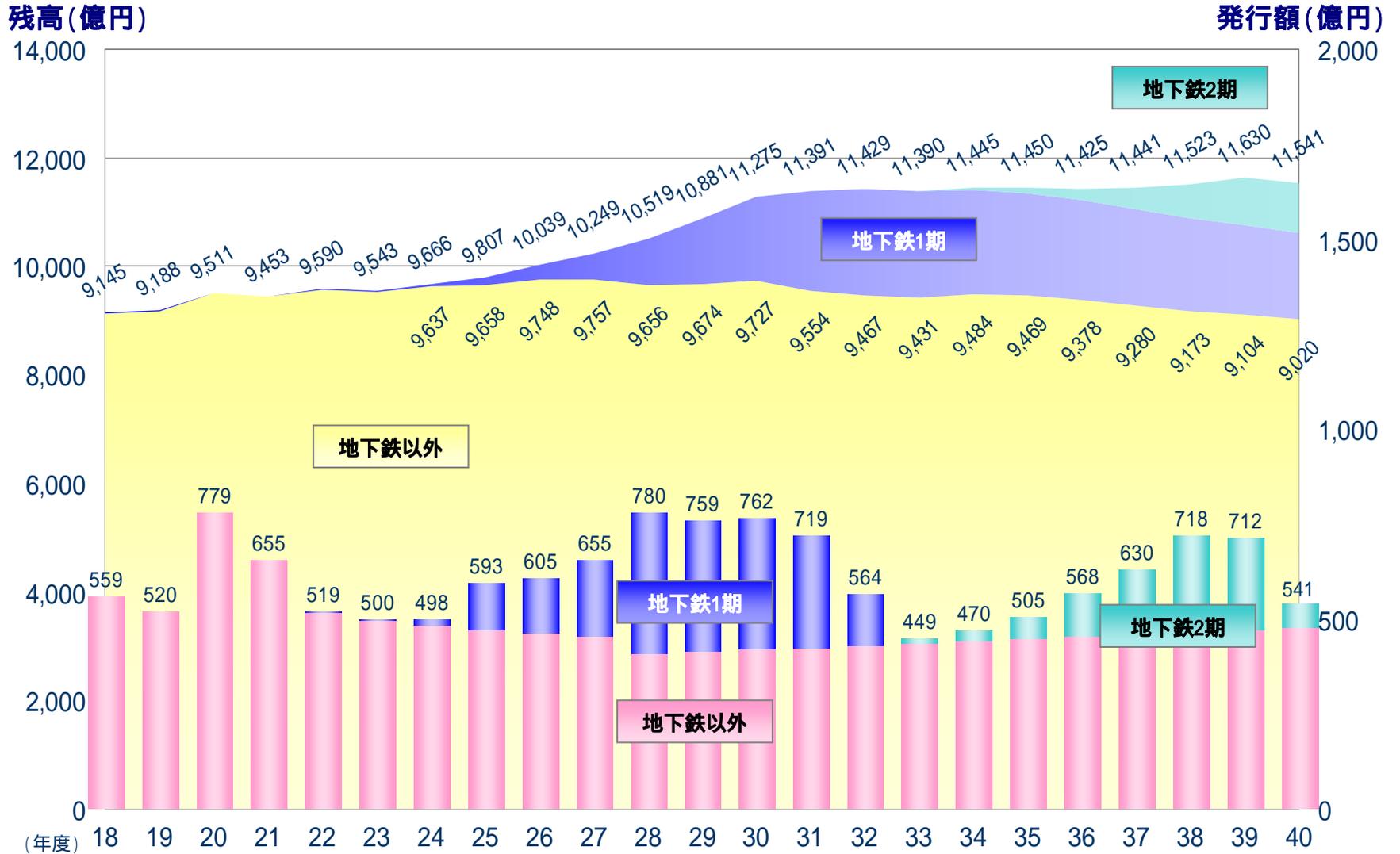


公債費等：一般会計の公債費に、これまでの財源対策による後年度負担(積立繰延、繰替運用)を加えたもの。  
 実質一般財源：公債費等(元金・利子)から借換債や使用料などの特定財源や償還財源が減債基金に積立てられている  
 土地開発公社に係る転貸債などのような特定財源に準ずる分を除いた税等で償還するもの。



# 市債発行額・残高に関する将来推計

KAWASAKI CITY





# 平成21年度川崎市債発行計画案

- ✓ 全会計合計額は1,843億円、うち、民間資金合計額は1,645億円(全体の89%)
- ✓ 市場公募債の発行総額は1,200億円(全体の65%)、うち、川崎市個別発行分は900億円(全体の49%)
- ✓ 銀行等引受債の発行総額は445億円(全体の24%)

(単位:億円)

区分			発行年限	発行総額	21年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年1月	2月	3月	5月			
市場公募債	川崎市個別発行	全国型市場公募地方債	5年	350			100			150				100						
			10年	250		150							100							
			20年	100	年度スポット発行															
			20年	100	上半期スポット発行															
			20年又は30年	100									下半期スポット発行							
	共同発行	10年	300	50	50				50				50		50	50				
銀行等引受債	証券発行又は証書発行	5年	208													9	199			
		10年	137							70							67			
		超長期	100															100		

- ✓ 中期・長期・超長期、それぞれ約1/3づつ発行
- ✓ 市場公募債と銀行等引受債の比率は7:3
- ✓ 民間資金と公的資金の比率は9:1



# 市債に関する取組み

## 市場との対話の重視

### 起債運営アドバイザー制度 (H18年度創設)

- 目的：  
市場関係者及び有識者から、川崎市が起債運営の実務面に関し、直接かつ継続的に助言や意見を聞く
- メンバー：  
川崎市の主要な引受金融機関(地域金融機関等・証券会社)及び有識者を中心に構成
- 市場関係者の参加メンバーは、市債の引受に関し特別な責任及び資格を伴い起債運営に協力する

### 投資家懇談会 (H18年度創設)

- 目的：  
市債を保有・運用する機関投資家及び有識者から、川崎市が直接かつ継続的に意見を聞く
- メンバー：  
国内の主要な投資家(生保、損保、投資顧問、共済組合など)及び有識者を中心に構成

## これまでの実績等

- ◆ 12回開催済み(年4回)
- ◆ 起債評価や市場の課題について幅広い意見交換を実施
- ◆ 本市の起債戦略に大きく寄与

➤ 議事等のURL：  
<http://www.city.kawasaki.jp/23/23sikin/home/ir/committee.htm>

- ◆ 6回開催済み(年2回)
- ◆ 本市の起債運営について投資家との率直な意見交換を実施
- ◆ 本市の円滑な起債運営に大きく寄与

➤ 議事等のURL：  
<http://www.city.kawasaki.jp/23/23sikin/home/ir/talkfest.htm>



# 川崎市ホームページのIRコーナー

KAWASAKI CITY

## 川崎市トップページ『事業者の方へ』



『ビジネスインデックス』の  
『入札情報・財政・契約・税金』の  
『市債・IR・ペイオフ』をクリック

『川崎市投資家情報  
(IR)』をクリック

## IRサイト



IR専用ページ:

<http://www.city.kawasaki.jp/23/23sikin/home/ir/ir.htm>

【お問い合わせ先】

川崎市財政局財政部資金課

TEL: 044-200-2182・2183

FAX: 044-200-3904

E-mail: [23sikin@city.kawasaki.jp](mailto:23sikin@city.kawasaki.jp)

URL: <http://www.city.kawasaki.jp>

ホームページは近日中にリニューアル予定です(URLの変更はありません)